

学校説明会公開用資料

入学者選抜における 特色選抜について

茨城県立 I T 未来高等学校

特色選抜について

次の点を説明いたします。

- ① 「出願要件」について
- ② 募集人員、選抜資料・配点
合否判定の流れ
志願するにあたっての諸注意 について
- ③ プレゼンテーションの実施方法について

特色選抜について

① 「出願要件」 について

特色選抜について

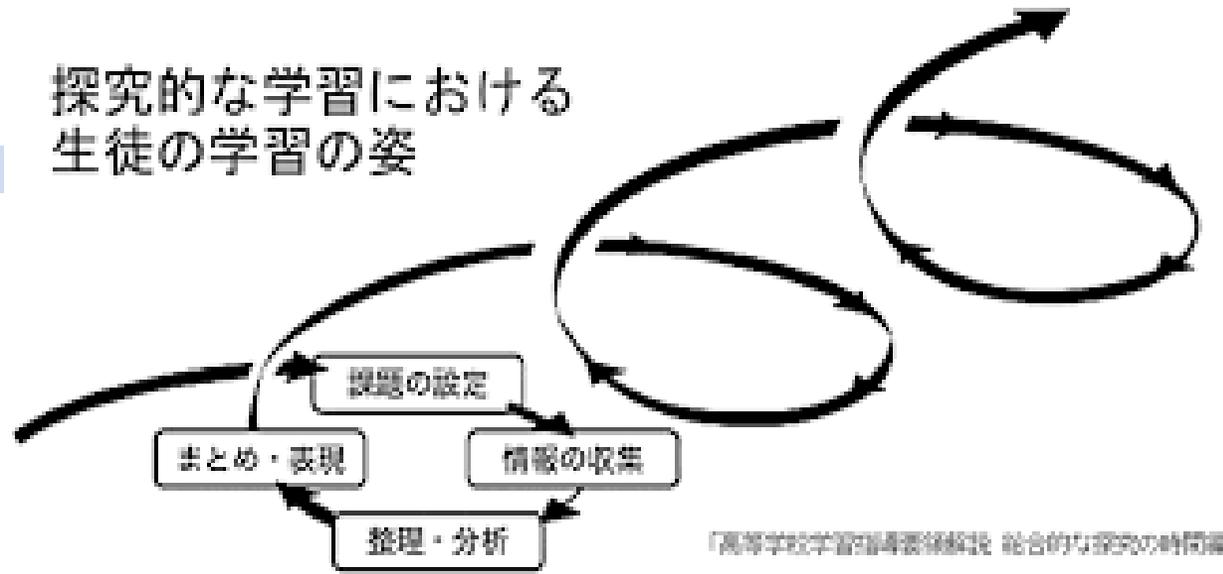


【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又はIT関係のコンテスト(※1)に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後もIT関係の探究活動又はコンテスト(※2)に積極的に挑戦する意志のある者。

特色選抜について

探究的な学習における
生徒の学習の姿



● 「探究活動」とは？

⇒ 下記の問題解決的な活動が繰り返される一連の学習活動のこと。

- ① 課題の設定（自ら設定をする）
- ② 解決に向けて情報の収集
- ③ 整理・分析（他者と意見交換や協働作業）
- ④ まとめ・表現

特色選抜について



【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又は I T 関係のコンテスト(※1)に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後も I T 関係の探究活動又はコンテスト(※2)に積極的に挑戦する意志のある者。

※1 U-22プログラミング・コンテスト、全国小中学生プログラミング大会、中高生国際Rubyプログラミングコンテスト等の各種プログラミングコンテスト、全国小・中学生作品コンクール（パソコン部門）、アプリ甲子園など。
ただし、タイピングのようなスキルを測るものは除く。

特色選抜について



【出願要件】 次の要件を満たす者

中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又はIT関係のコンテスト(※1)に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後もIT関係の探究活動又はコンテスト(※2)に積極的に挑戦する意志のある者。

※2 日本情報オリンピック、パソコン甲子園、中高生情報学研究コンテスト、日本学生科学賞、U-22プログラミング・コンテスト、日本ゲーム大賞U18部門、IBARAKIドリーム・パス事業など。

特色選抜について

② 募集人員、選抜資料・配点

合否判定の流れ

志願するにあたっての
諸注意

について

特色選抜について



【特色選抜での募集人員】

40人以内（定員の50%以内）

午前の部：20人以内

午後の部：20人以内

特色選抜について



【選抜資料及び配点】

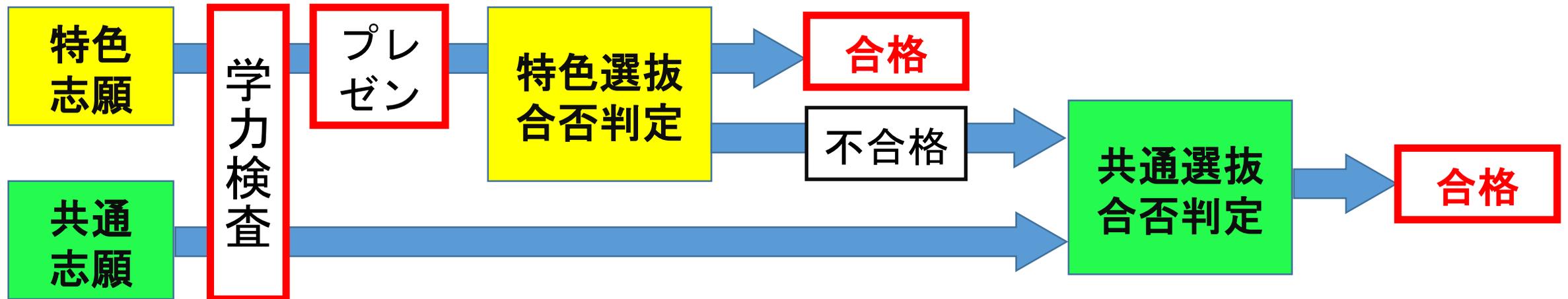
・ 学力検査	700点
	(数学・理科は2倍)
・ 調査書	200点
・ プレゼンテーション	200点
	<hr/>
合計	1,100点

特色選抜について



【合否判定の流れ】

- ① 特色選抜の合否を判定。
- ② 合格しなかった受検者は、共通選抜のみに志願した受検者とあわせて、共通選抜により合否判定。



特色選抜について



【志願するにあたっての諸注意】

- ① 特色選抜としての選抜は、**第1志望とした「午前の部」「午後の部」のいずれか**です。
- ② “特色選抜”で合格と判定されなかった場合は**共通選抜にまわり、共通選抜のみに志願した受検者とともに合否を判定**します。

特色選抜について

〈例1〉「午後の部」を“特色選抜”で出願する場合 入学願書への記入方法

- ・ 上段に「IT」、下段に「午前」または「午後」と記入
- ・ 第2志望がない場合は、枠を斜線で引く。

様式第1号の1 (表面)

令和5年度入学願書				受験番号	※
志望 課程	全日制 定時制	志望 学科	第1 第2	午後 IT後	科
志	ふりがな 氏名 (生年月日)	○○○○ □ □ □ □	○○○○ □ □ □ □	(昭和 平成 △△年 △△月 △△日生)	

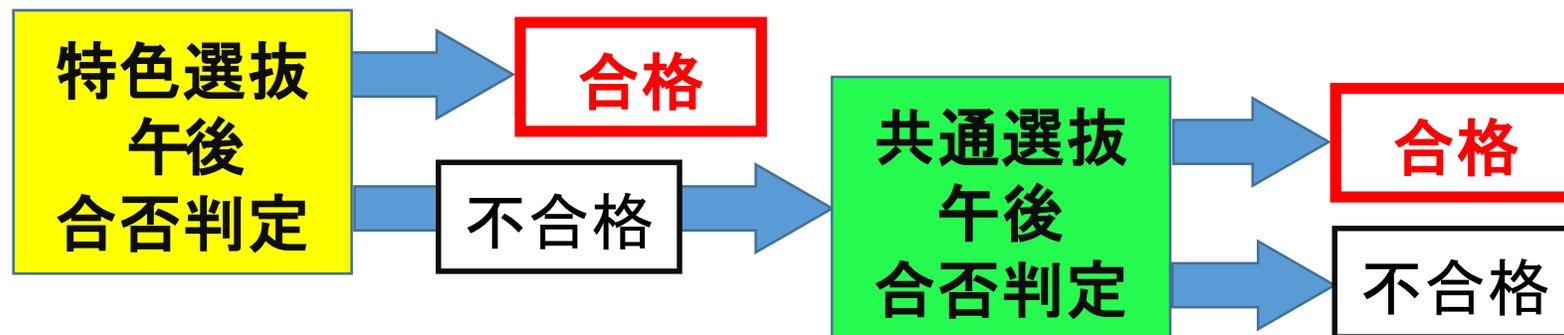
共通選抜 **特色選抜** 帰国子女 外国人 成人

特色選抜について

〈例1〉「午後の部」を“特色選抜”で出願する場合

①特色選抜（午後） ⇒ ②共通選抜（午後）
の順番に合否を判定

※ “特色選抜”で合格にならなかった場合は、
共通選抜に回って合否を判定。



特色選抜について

〈例2〉「午前の部」を第1志望として“特色選抜”で出願し、「午後の部」を第2志望で出願する場合
入学願書への記入方法

- ・第1志望、第2志望の両枠に記入する。

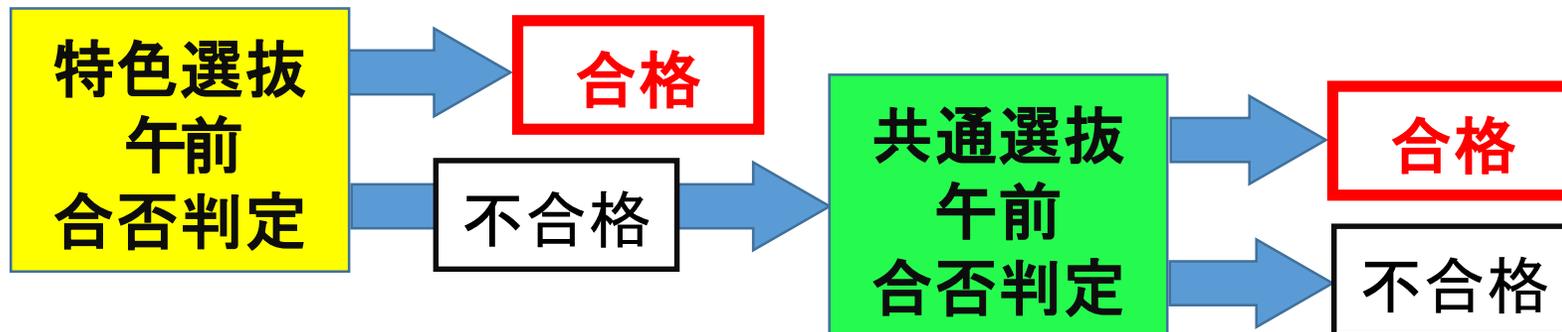
様式第1号の1 (表面)		共通選抜 特色選抜 帰国子女 外国人 成人			
令和5年度入学願書			受検番号	※	
志望 課程	全日制 定時制	志望 学科	第1	午前 丁前 料	
			第2	午後 丁後 料	
志 氏 (生年月日)	ふりがな 氏名 (生年月日)	○○○○ ○○○○ □ □ □ □	(昭和 平成 △△年 △△月 △△日生)		

特色選抜について

〈例2〉「午前の部」を第1志望として“特色選抜”で出願し、「午後の部」を第2志望で出願する場合

「午後の部」の合格者数が定員（40名）を満たした場合・・・

①特色選抜（午前） ⇒ ②共通選抜（午前）
の順番に合否を判定



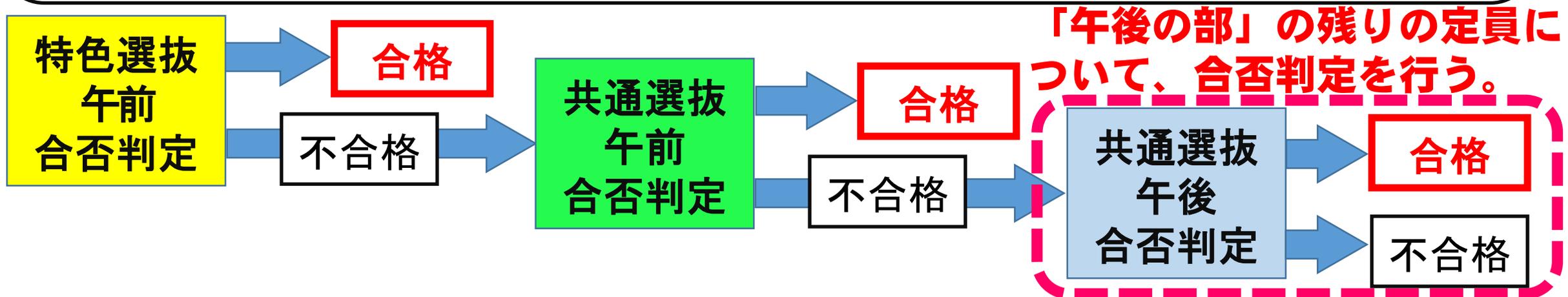
「午後の部」での
合否の判定は
行わない。

特色選抜について

〈例2〉「午前の部」を第1志望として“特色選抜”で
出願し、「午後の部」を第2志望で出願する場合

「午後の部」の合格者数が定員（40人）を満たさない場合…

①特色選抜（午前） ⇒ ②共通選抜（午前）
⇒ ③共通選抜（午後） の順番に合否を判定



特色選抜について

- ③ プレゼンテーションの実施方法 について

特色選抜について



【プレゼンテーション】

- **「探究活動」であればどんな活動でも構いません。**
 - ・ 学校（総合的な学習の時間、授業など）
 - ・ 家庭（個人での探究活動） など
- **「IT関係のコンテスト（※1）」について、入賞したかどうかにかかわらず、参加するために継続して取り組んだ経験があれば、出願できます。**

特色選抜について



【プレゼンテーション】

- ⇒ ・ 個別に実施
- ・ 発表5分、質疑応答5分程度 ⇒ **1人10分程度**
- 〔活動報告：4分程度
入学後に挑戦したい活動の説明：1分程度〕

テーマ

「中学時代に取り組んできた探究活動又はIT関係のコンテストに参加するための活動について、及び入学後挑戦したいIT関係の探究活動またはコンテストについて」

特色選抜について



【プレゼンテーション】

●発表資料

- ・ **PDF形式にて**
- ・ **サイズ… A4判横向き、または
縦：横の比が「3：4」か「9：16」**

●当日持参するもの

- ① **発表資料ファイルを保存したUSBメモリ**
- ② **発表資料をA4判サイズに印刷した紙1部
(モノクロ、カラーは問わない。)**

特色選抜について



【プレゼンテーション】

● 自分のUSBメモリを所有していて、学力検査終了後の発表資料投影の確認を希望する場合…

- 6 プレゼンテーション実施に関する調査（□のいずれかに✓を入れる。）
発表資料（PDF形式）を入れるUSBメモリの貸与を希望しますか。〔学力検査終了後に貸与〕
- 希望する
 希望しない → 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。 希望する
 希望しない
- ここにチェックを記入**

特色選抜について



【プレゼンテーション】

●USBメモリを用意できない場合…

- 6 プレゼンテーション実施に関する調査（□のいずれかに✓を入れる。）
発表資料（PDF形式）を入れるUSBメモリの貸与を希望しますか。〔学力検査終了後に貸与〕
- 希望する
 希望しない → 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。 希望する
 希望しない
- ここにチェックを記入**

活動報告書提出の際、USBメモリ貸与の「希望する」にチェックを入れる。なお、この場合は学検終了後の発表資料投影はできません（USBメモリの貸し出しと重なるため）。

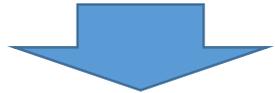
特色選抜について



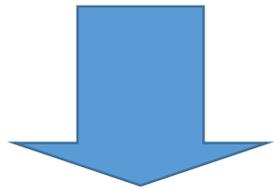
【プレゼンテーション】

●当日の実施の流れ

① **【待機室】** 順番が来るまで待機。



② **【控室】** 発表資料の投影及び電子黒板の
操作確認



③ **【受検室】** 本校の65型電子黒板にUSBメモリ
を直接接続し、資料を投影して行う。

【学力検査日】 筆記試験終了後

実際に使用するPDFファイルの確認

- 自分で用意したUSBに、本番のプレゼンで使用するPDFファイルを入れて、1日目に持参する。
- 実際に電子黒板にUSBを挿入し、PDFファイルが正しく読み込めるかを自分で確認する。
- スライド切り替えなどの、**操作確認は行わない。**

特色選抜試験当日

待機室

- ・受付後待機室に集合し、受検番号が呼ばれるまで待機する。

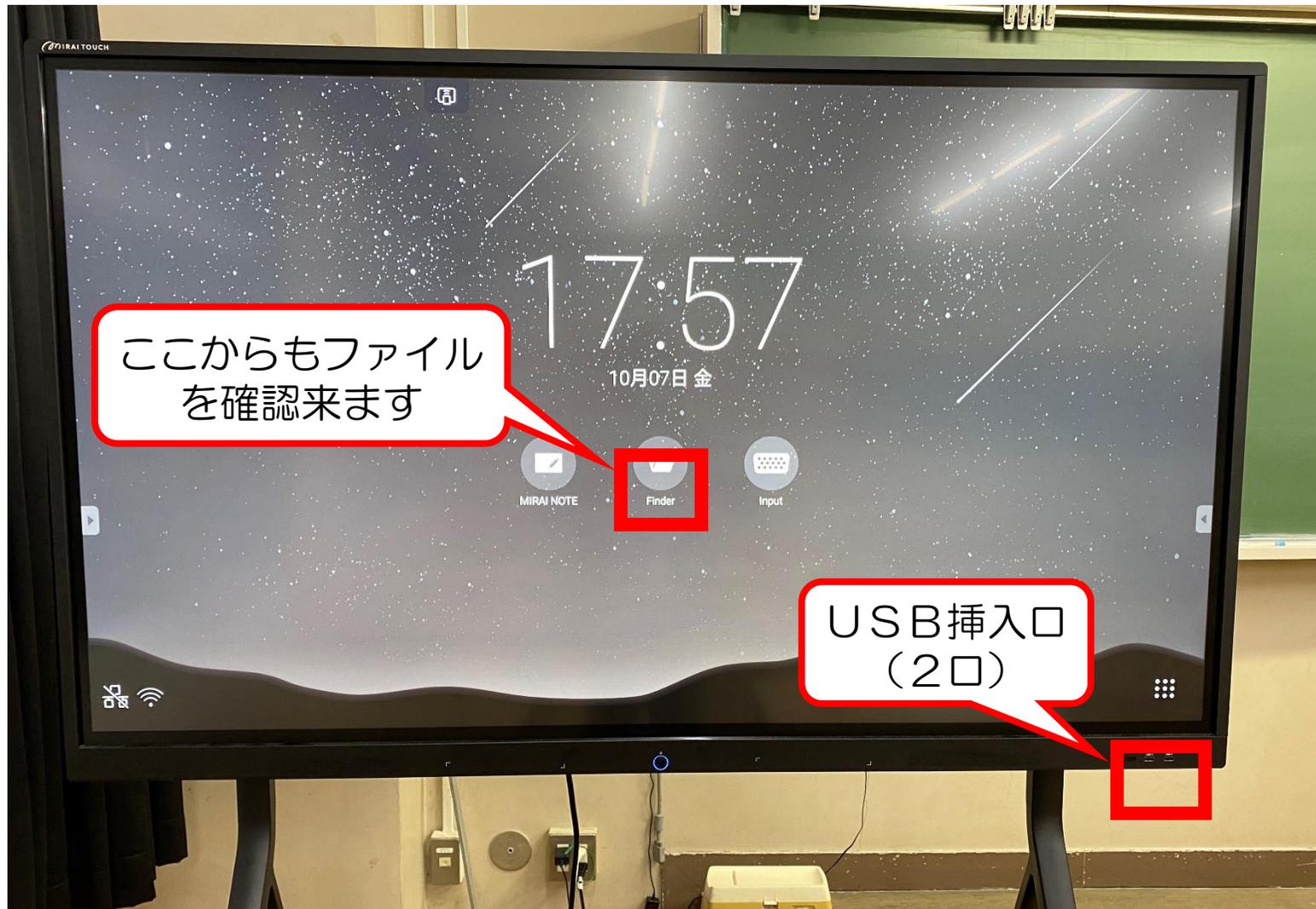
控室

- ・持参したUSBを電子黒板に差し、ファイルの確認をする。
- ・スライドの切り替えなど、実際に操作のテストを行う。

受検室

- ・受検番号が呼ばれたら入室し、発表・質疑応答を行う。
- ・質疑応答終了後、退室

電子黒板（ミライタッチ）について



①USB挿入・読み込み



②PDFファイルを選択



③スライドの再生



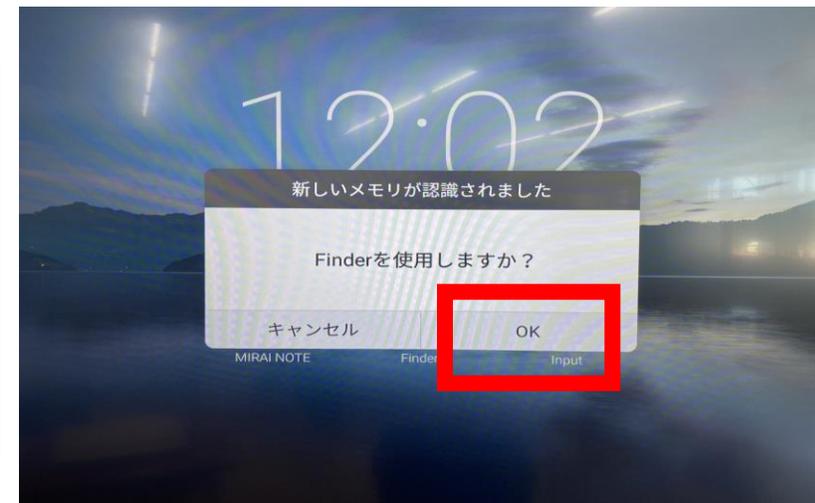
④終了・USBの取り外し

手順① USBの挿入・読み込み

電子黒板右下にある挿入口にUSBを挿入
(2箇所のうちどちらでもよい)



USB挿入後，表示される「OK」をタップして
左側に表示される「USB1」を選択



手順② 使用するPDFファイルを選択

左側に表示される「USB 1」を選択し、
プレゼンに使用するPDFファイルを
ダブルタップして開く。



左上の「再生」をタップ後、「最初から」を選択し、プレゼンを開始する。



ダブルタップで
ファイルが開く

手順③ スライドの再生

スライドの再生

- 左上の「再生」→「最初から」をタップ

スライドの進行・巻き戻し

- スライドの進行：「→」 or 画面を右スワイプ
- スライドの巻き戻し：「←」 or 画面を左スワイプ

全ページをプレビュー表示

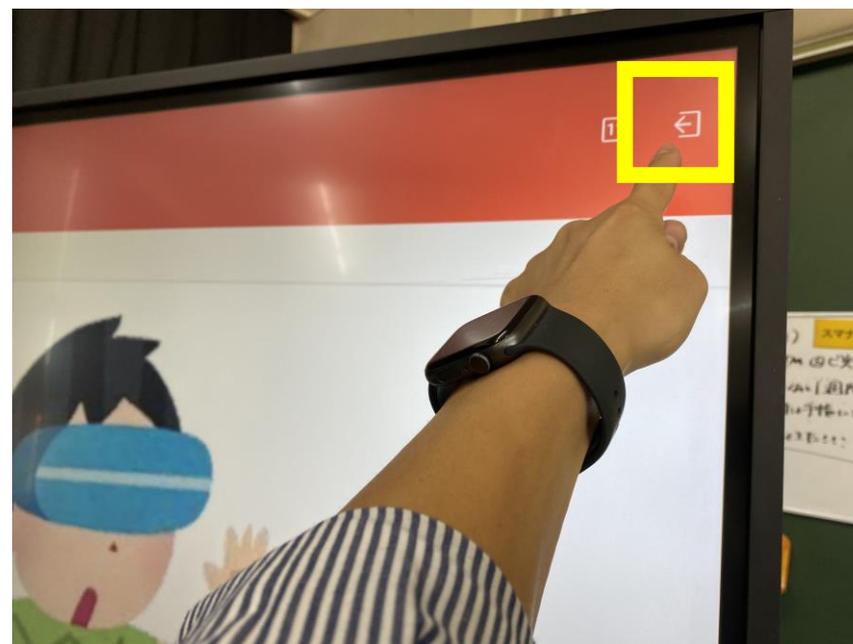
- 全ページのプレビューを表示：画面中央付近をタップ

手順④ プレゼンの終了・USBの取り外し

プレゼン終了後、右上の  ボタンをタップした後「X」をタップし、再生を終了する。



プレゼンテーション終了後、
USBをそのまま外す。



特色選抜について

【プレゼンテーション】

●実施上の注意点

- ① **読み原稿の持込はできない。**
 - ② **自身が制作したアプリ等の成果物や作品は持ち込んでも良い。しかし、その説明をするにあたって、学校の電源及び電子黒板等を使用することはできない。**
- ※ **成果物や作品の説明に要する時間も発表時間に含まれる。**

